

農業と大学の連携

本市では、次世代を担う農業人材を育成するため、地域の大学と連携しています。今回はその取り組みについてご紹介します。

◆豊橋技術科学大学との取り組み

平成18年に国立大学法人豊橋技術科学大学が、農業や関連分野における農工融合型の研究開発と実用化を行うことを目標として「先端農業・バイオリサーチセンター」を設置しました。

本市では、バイオリサーチセンターと連携して農業人材育成に取り組んでいます。今年度は「最先端植物工場マネージャー」「IT食農先導士」市民講座「花の話」などの社会人向けのプログラムを開講しています。

○「最先端植物工場マネージャー」育成プログラム

最先端技術を農業に導入するため、植物工場の技術について講義・実習を行い、植物工場を管理運営できる人材を育成しています。



○「IT食農先導士養成プログラム」

土地利用型農業においてIT技術を農業に導入するための講義・実習を行います。将来、地域の担い手となる若者が、土地利用型農業の管理・経営ができるよう、IT農業人材を育成しています。

○市民講座「花の話」

渥美半島を代表する農産物である花についての講座を開講しています。



どなたでも受講可能ですので、最先端の農業技術に興味のある方は、ぜひ受講してみてください。詳細は、HPをご覧ください。

▼先端農業・バイオリサーチセンター
<http://www.recab.tut.ac.jp/>

◆愛知大学との取り組み

4月に愛知大学地域政策学部にて「食農環境コース」が新設されました。食料の生産・消費を巡る問題の解決につながる地域政策の立案・遂行により、農業を新たなコミュニティビジネスへと発展させることで地域活性化に貢献できる人材の育成を目指しています。



7月の

渥美半島の花と鉢花

ヒマワリ

(花/出荷時期:5月~9月)

花ことば

あなただけを見つめる

夏の代表的な花で、ポロポーズ用の花としてもおすすめです。本市では約25万本が出荷されています。



アンズリウム

(鉢花/出荷時期:通年)

鉢

花ことば

情熱・熱心

南米原産の植物です。花に見える部分は葉で、中心の円筒が花です。本市では約14万鉢が出荷されています。

